



第80回国民スポーツ大会
青森県準備委員会

第4回式典専門委員会



「アップリート君」



令和5年1月24日（火）

ウェディングプラザアラスカ

3階 エメラルド

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第4回式典専門委員会資料目次

○ 次第	P.1
○ 委員名簿	P.2
○ 委員の変更	P.3
○ 報告事項	
1 第80回国民スポーツ大会準備経過	P.4
2 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項	P.13
3 第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）総合開・閉会式視察報告	P.14
○ 審議事項	
1 第80回国民スポーツ大会総合開・閉会式の方向性（案）	P.34
2 第80回国民スポーツ大会式典実施計画作成に係る業務委託について（案）	P.37
3 第80回国民スポーツ大会式典音楽の制作について（案）	P.40
4 第80回国民スポーツ大会炬火台・炬火トーチ・炬火受皿の製作について（案）	P.43
○ その他	
第80回国民スポーツ大会式典業務スケジュール	P.47
○ 参考資料	
第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項	別冊

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第4回式典専門委員会 次第

日時：令和5年1月24日（火）

13：30～15：00

場所：ウェディングプラザアラスカ

3階 エメラルド

1 開会

2 委員の変更について

3 報告事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会準備経過
- (2) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
- (3) 第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）総合開・閉会式視察報告

4 審議事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会総合開・閉会式の方向性（案）
- (2) 第80回国民スポーツ大会式典実施計画作成に係る業務委託について（案）
- (3) 第80回国民スポーツ大会式典音楽の制作について（案）
- (4) 第80回国民スポーツ大会炬火台・炬火トーチ・炬火受皿の製作について（案）

5 その他

第80回国民スポーツ大会式典業務スケジュール

6 閉会

式典専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

分 野	機関・団体名及び役職名	氏 名
市町村関係	青森市経済部地域スポーツ課 国民スポーツ大会準備室 室長	須藤 静路
体育・スポーツ 関係	公益財団法人 青森県スポーツ協会 副会長	大沢 陽子
	特定非営利活動法人 青森県スポーツ・レクリエーション連盟 事務局長	葛西のり子
	青森県女子体育連盟 会長	増田あけみ
	青森県体操協会 理事	荒川 栄
	青森県エアロビック連盟 理事	中村 俊子
学校関係	青森県小学校長会 総務部長	田中 直樹
	青森県中学校長会 広報委員長	長尾 信
	青森県高等学校長協会 副会長	古川 浩樹
	青森県私立中学高等学校長協会 理事	笹木 正信
学識経験者	青森大学社会学部 特任教授	笠島 明
経済・産業、 社会教育関係	一般財団法人 青森県文化振興会議 専務理事	逢坂 清悦
	青森県吹奏楽連盟 理事長	鳴海 憲孝
	青森県合唱連盟 理事長	辻村 成子
報道関係	日本放送協会青森放送局 コンテンツセンター長	河野 糧祐
県関係	環境生活部県民生活文化課 課長	白戸 明子
	健康福祉部障害福祉課 課長	櫻庭 仁明
	県警察本部警務部警務課 課長	古川 昭治

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会式典専門委員会委員の変更

第3回式典専門委員会（令和3年12月1日）以降における委員の変更については、下記のとおりである。

（順不同：敬略称）

分野	機関・団体名及び役職名	新任者	旧任者	変更年月日
市町村関係	青森市経済部地域スポーツ課 国民スポーツ大会準備室 室長	須藤 静路	遠嶋 祥剛	令和4年4月1日
学校関係	青森県小学校長会 総務部長	田中 直樹	成田 達哉	令和4年4月1日
	青森県中学校長会 広報委員長	長尾 信	笹 弘道	令和4年4月8日
経済・産業、 社会教育関係	一般財団法人 青森県文化振興会議 専務理事	逢坂 清悦	岸里 フミエ	令和4年5月16日
県関係	環境生活部県民生活文化課 課長	白戸 明子	館 栄	令和4年4月1日
	健康福祉部障害福祉課 課長	櫻庭 仁明	大水 康治	令和4年4月1日
	県警察本部警務部警務課 課長	古川 昭治	工藤 昭幸	令和4年4月1日

第 80 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 経 過

年 月 日	内 容
平成 25 年 6 月 24 日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成 37 年に開催の第 80 回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成 26 年 6 月 28 日 ～平成 27 年 7 月 23 日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全 6 回開催）
8 月 26 日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9 月 10 日	平成 27 年度第 2 回青森県総合教育会議において、第 80 回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9 月 18 日	平成 27 年 9 月青森県議会第 283 回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成 37 年に開催される第 80 回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10 月 9 日	同上定例会において、県議会が「第 80 回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11 月 20 日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成 28 年 1 月 13 日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4 月 1 日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5 名体制）
8 月 31 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第 1 回総会及び第 1 回常任委員会を開催
10 月 21 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 1 回総務企画専門委員会を開催
10 月 25 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 1 回競技運営専門委員会を開催
11 月 10 日	第 80 回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成 29 年 3 月 28 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回総務企画専門委員会を開催
4 月 1 日	国体準備室員を増員（7 名体制）
4 月 19 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回常任委員会を開催
5 月 24 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回総会を開催

年	月	日	内	容
	7月	13日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催	
	7月	20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催	
	8月	30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催	
	10月	23日	第80回国民体育大会第1回会場地市町村・競技団体担当者会議を開催	
	10月	26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催	
	11月	1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催	
	12月	12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催	
	12月	18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催	
平成30年	1月	15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催	
	1月	22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催	
	1月	24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストラーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催	
	3月	14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催	
	4月	1日	国体準備室員を増員（8名体制）	
	5月	14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催	
	5月	15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催	
	6月	6日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回常任委員会を開催	
	7月	10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会を開催	
	8月	30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会を第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会に改称	

年	月	日	内 容
	9月	5日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回施設専門委員会を開催
	10月	18日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
	11月	1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回広報・県民運動専門委員会を開催
	〃		国体準備室を国民スポーツ大会準備室に改称
	11月	16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
	12月	21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会を開催
平成31年	3月	28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回競技運営専門委員会を開催
	4月	1日	県教育委員会から業務を移管し、県企画政策部に国民スポーツ大会準備室を設置（14名体制）
	4月	22日	第80回国民スポーツ大会第2回会場地市町村担当者会議を開催
令和元年	5月	9日	中央競技団体正規視察（ゴルフ）
	5月	10日	
	5月	16日	中央競技団体正規視察（卓球）
	5月	22日	中央競技団体正規視察（バドミントン）
	5月	23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
	5月	24日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回広報・県民運動専門委員会を開催
	5月	28日	中央競技団体正規視察（高等学校野球）
	5月	29日	
	6月	14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回常任委員会を開催
	6月	20日	中央競技団体正規視察（カヌー）
	6月	20日	中央競技団体正規視察（セーリング）

年 月 日	内 容
6 月 2 6 日	中央競技団体正規視察（弓道）
6 月 2 7 日	中央競技団体正規視察（スポーツクライミング）
7 月 1 日	中央競技団体正規視察（ソフトボール）
7 月 2 日	
7 月 3 日	
7 月 3 日	中央競技団体正規視察（テニス）
7 月 4 日	中央競技団体正規視察（サッカー）
7 月 5 日	
7 月 1 0 日	中央競技団体正規視察（ラグビーフットボール）
7 月 1 1 日	
7 月 1 8 日	中央競技団体正規視察（ソフトテニス）
7 月 2 2 日	中央競技団体正規視察（自転車）
7 月 2 3 日	
7 月 2 6 日	中央競技団体正規視察（クレール射撃）
7 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 4 回総会を開催
7 月 3 0 日	中央競技団体正規視察（剣道）
7 月 3 0 日	中央競技団体正規視察（体操）
8 月 2 日	中央競技団体正規視察（ホッケー）
8 月 9 日	中央競技団体正規視察（フェンシング）
8 月 1 5 日	中央競技団体正規視察（相撲）
8 月 1 9 日	中央競技団体正規視察（陸上競技）
8 月 2 3 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 回宿泊専門委員会を開催
8 月 2 9 日	中央競技団体正規視察（空手道）

年 月 日	内 容
8月30日	中央競技団体正規視察（なぎなた）
9月 3日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
9月11日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回式典専門委員会を開催
9月26日	中央競技団体正規視察（銃剣道）
10月 8日	中央競技団体正規視察（ボート）
10月 9日 10月10日	中央競技団体正規視察（バレーボール）
10月15日	中央競技団体正規視察（ハンドボール）
10月17日	中央競技団体正規視察（レスリング）
10月23日	中央競技団体正規視察（柔道）
10月29日	中央競技団体正規視察（ウエイトリフティング）
10月30日 10月31日	中央競技団体正規視察（軟式野球）
10月31日	公益財団法人日本スポーツ協会が、知事、公益財団法人青森県スポーツ協会会長、教育長に第80回国民スポーツ大会冬季大会の開催を依頼
11月 1日	中央競技団体正規視察（アーチェリー）
11月 6日 11月 7日	中央競技団体正規視察（ライフル射撃）
11月13日	中央競技団体正規視察（ボウリング）
11月20日	中央競技団体正規視察（トライアスロン）
11月27日	中央競技団体正規視察（馬術）
11月28日	令和元年11月青森県議会第300回定例会の一般質問において知事が第80回国民スポーツ大会冬季大会を開催することについて表明

年	月	日	内	容
	1	2月16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回広報・県民運動専門委員会を開催	
令和2年	1	1月14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回常任委員会を開催	
	1	1月15日	中央競技団体正規視察（バスケットボール）	
	1	1月16日		
	2	2月13日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回競技運営専門委員会を開催	
	2	2月28日	中央競技団体正規視察（水泳・飛込）	
	4	4月1日	国民スポーツ大会準備室員を増員（19名体制）	
	4	4月24日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回施設専門委員会を開催（書面決議）	
	5	5月11日	第80回国民スポーツ大会第3回会場地市町村担当者会議を開催（書面開催）	
	5	5月15日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催（書面決議）	
	5	5月28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）	
	6	6月1日	知事、教育長、県スポーツ協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出	
	6	6月1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回常任委員会を開催（書面決議）	
	6	6月26日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
	7	7月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回総会を開催（書面決議）	
	9	9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、鹿児島県、及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の4者が第75回鹿児島国体を令和5年に開催することを決定し、これにより第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）を令和8年に一年延期することが決定	
	10	10月8日	公益財団法人日本スポーツ協会臨時理事会において、第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催地として内定	
	10	10月27日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回警備・消防専門委員会を開催	

年	月	日	内	容
	10月	28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回医事・衛生専門委員会を開催	
	12月	1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
		〃	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回馬術競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
	12月	21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回馬術競技運営専門委員会馬事衛生部会を開催（書面開催）	
	12月	22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回宿泊専門委員会を開催	
令和3年	1月	13日	令和2年度第2回国体開催県検討会議を開催（オンライン開催）	
	1月	20日	第80回国民スポーツ大会第3回市町村担当者会議・第3回競技団体担当者会議を開催	
	1月	22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第9回総務企画専門委員会を開催	
	2月	1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第9回常任委員会を開催	
	4月	19日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回広報・県民運動専門委員会を開催	
	4月	27日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回施設専門委員会を開催	
	5月	28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回競技運営専門委員会を開催	
	6月	9日	令和3年度第1回国体開催県検討会議を開催（オンライン開催）	
	7月	9日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総会を開催（書面決議）	
	7月	30日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回輸送・交通専門委員会を開催（書面決議）	
	9月	9日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回式典専門委員会を開催（書面決議）	
	9月	16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回馬事衛生部会を開催（書面決議）	
	9月	30日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面決議）	

年	月	日	内	容
		1 0 月 2 6 日	中央競技団体正規視察（水泳（競泳・水球・AS・OWS））	
		1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回馬術競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
		1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 4 回市町村担当者会議を開催（オンライン開催）	
		1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 4 回会場地市町村担当者会議・第 4 回競技団体担当者会議を開催（オンライン開催）	
		1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 1 回会場地市町村宿泊・輸送担当者会議を開催（オンライン開催）	
		1 1 月 1 7 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 9 回競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
		1 1 月 2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回医事・衛生専門委員会を開催（書面開催）	
		1 1 月 2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 3 回宿泊専門委員会を開催（書面開催）	
		1 1 月 2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回警備・消防専門委員会を開催（書面決議）	
		1 1 月 2 6 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 9 回広報・県民運動専門委員会を開催（書面決議）	
		1 1 月 2 6 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 0 回総務企画専門委員会を開催（書面決議）	
		1 2 月 1 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 3 回式典専門委員会を開催（書面決議）	
		1 2 月 2 1 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 0 回常任委員会を開催	
令和 4 年	2 月	1 4 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 5 回会場地市町村担当者会議を開催（オンライン開催）	
	4 月	1 日	国民スポーツ大会準備室員を増員（2 5 名体制）	
	5 月	1 6 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 0 回競技運営専門委員会を開催（書面開催）	
	6 月	3 0 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 2 回会場地市町村宿泊・輸送担当者会議を開催（オンライン開催）	
	7 月	2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 7 回総会を開催	

年	月	日	内	容
		8月9日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回警備・消防専門委員会を開催	
		8月31日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回輸送・交通専門委員会を開催（書面開催）	
		9月2日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回宿泊専門委員会を開催	
		9月16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回施設専門委員会を開催	
		9月16日	第80回国民スポーツ大会第5回市町村担当者会議を開催（オンライン開催）	
		10月7日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第10回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）	
		10月13日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回医事・衛生専門委員会を開催	
		11月7日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第11回総務企画専門委員会を開催	
		11月10日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回馬術競技運営専門委員会を開催	
		11月14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第11回競技運営専門委員会を開催（書面決議）	
		12月1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面開催）	
		12月21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第11回常任委員会を開催	
令和5年		1月11日	第80回国民スポーツ大会第6回市町村担当者会議を開催（オンライン開催）	
		1月13日	第80回国民スポーツ大会第6回会場地市町村担当者会議・第5回競技団体担当者会議を開催（オンライン開催）	

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項

第 3 回式典専門委員会（令和 3 年 12 月 1 日）以降に開催した総会及び常任委員会での決定事項は、下記のとおりである。

記

1 第 10 回常任委員会決定事項【令和 3 年 12 月 21 日開催】

- ・ 第 80 回国民スポーツ大会競技会場の変更
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ開催競技及び競技会場の変更
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会記録業務基本計画
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会輸送・交通基本計画
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会式典基本計画
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会警備・消防防災基本計画

2 第 7 回総会決定事項【令和 4 年 7 月 22 日開催】

- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 3 年度事業報告
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 3 年度収支決算
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 4 年度事業計画
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 4 年度収支予算

3 第 11 回常任委員会決定事項【令和 4 年 12 月 21 日開催】

- ・ 第 80 回国民スポーツ大会正式競技種別変更及び競技会場の変更
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ開催競技及び競技会場の変更
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会総合開・閉会式会場整備基本計画

報告事項 3

第77回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) 総合開・閉会式視察報告



次第・全体スケジュール

【総合開会式】

期日 令和4（2022）年10月1日（土）

会場 カンセキスタジアムとちぎ



総合開会式		
順	次第	時刻
1	開場	10:00
2	オープニングプログラム開始	12:45
3	入場締切	13:25
4	オープニングプログラム終了	14:05
5	皇室御着席	14:14
6	開会通告	14:15
7	役員・選手団入場開始	14:17
8	役員・選手団整列完了	14:40
9	開会宣言	14:41
10	国旗敬礼	14:44
11	大会旗・日本スポーツ協会旗敬礼	14:46
12	栃木県旗・宇都宮市旗敬礼	14:47
13	天皇杯・皇后杯返還	14:49
14	大会会長あいさつ	14:52
15	文部科学大臣あいさつ	14:55
16	皇室おことば	14:58
17	炬火入場・点火	15:01
18	選手代表宣誓	15:06
19	閉会通告	15:09
20	皇室御退席	15:10
21	皇室御着席	15:24
22	式典演技開始	15:25
23	式典演技終了	15:47
24	皇室御退席	15:48
25	役員・選手団退場開始	15:49
26	役員・選手団退場完了	16:04
27	エンディングプログラム開始	16:05
28	エンディングプログラム終了	16:34
29	終了	16:35

オープニング
プログラム
(80分)

式典
(54分)

式典演技
(22分)

エンディング
プログラム
(30分)

オープニングプログラム



フィールド司会者
U事工事さん
とちぎテレビアナウンサー（若林芽育）



炬火デザインは一般公募
大谷石、赤いタイルでいちごの形を表現。燃料
は牛のふん尿を原料としたグリーンLPガス使用。

オープニングプログラム（チアパフォーマンス）



幸福の科学学園中学校・高等学校チアダンス部 GOLDEN GRIFFINS
UTUNOMIYA CHEERLEADING CLUB ANGELS & CHEERLEADING SCHOOL ANGELS

オープニングプログラム（八木節・ダンス）



足利市八木節連合会



五家英子とみんなで楽しく踊ろう会

オープニングプログラム（和太鼓演奏）



栃木県太鼓連盟

オープニングプログラム（映像プログラム）



栃木県の魅力発信、栃木国体までのあゆみ、アスリートからの応援メッセージ等

オープニングプログラム（集火式）



県内全25市町の炬火イベントで採火式を実施。
採火した火を一つに集火。



最終集火者は森三中の大島美幸さん
炬火名「いちご一会とちぎの火」

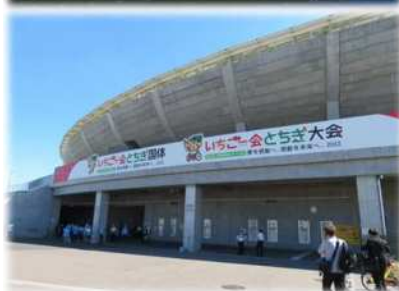
式典運営（式典会場・式典補助員等）



フィールドに丸椅子を設置



式典補助員
（公財）日本ボー
イスカウト栃木県
連盟



式典アナウンサー
NHK宇都宮放送局 武田涼介
栃木県立真岡女子高等学校2年 市村千夏
栃木県立宇都宮女子高等学校2年 森田想子
栃木県立鹿沼高等学校2年 石田真帆

式典（皇室御着席・開会宣言/ブルーインパルス飛行）



皇室御着席



開式通告、ファン
ファーレ後にブ
ルーインパルス祝
賀飛行（航空自衛
隊第4航空団第11
飛行隊）
「レベルサンライ
ズ」



式典アシスタント
（一社）とちぎ農
産物マーケティング協会とちぎフ
レッシュメイト4
名



開会宣言
栃木県知事

式典（大会旗・カラーガード隊・都道府県応援団）



国体旗保持行進者
（公財）日本ボー
イスカウト栃木県
連盟

カラーガード
県警察音楽隊・
カラーガード隊



都道府県応援団
宇都宮市立
陽光小学校
宮の原小学校
五代小学校
雀宮中学校

スティックパルー
ンや不使用となっ
た布から再生した
ハンカチで応援

式典（役員・選手団入場）



大会名プラカー
ダー
（一社）ガールス
カウト栃木県連盟



都道府県プラカー
ダー
栃木県立宇都宮工
業高校



総合開会式は沖縄
県から各県5列で
入場行進



入場行進後は丸椅
子に着席

式典（国旗儀礼・皇室おことば・天皇杯皇后杯返還）



国旗儀礼



皇室おことば



天皇杯皇后杯返還



式典（炬火入場・点火）



第一走者
前回大会出場者

砂岡良治
（ウェイトリフ
ティング）
小西恵美子
（陸上競技）



点火者
今大会出場者
（少年種別）

遠藤美羽
（バドミントン）
広田大和
（馬術競技）



第二走者
県出身アスリート

赤羽有紀子
（陸上・北京五輪
出場）
広沢克実
渡辺俊介
（元プロ野球選
手）



炬火台
幅 156cm
高 195cm
奥行154cm
重量1 t

式典（選手代表宣誓・ステージ転換・演技振付レクチャー）



宣誓者
今大会出場者
（成年種別）

樽崎智亜
（スポーツライミング）
狐塚美樹
（ホッケー）



ボーイスカウトに
よる演台等の撤去

式典演技振付師
ミッキーさんによ
る、パフォーマ
ンスレクチャー

式典音楽



式典音楽隊 【吹奏楽隊100名・合唱隊120名】
（吹奏楽隊）作新学院高、宇都宮中央女子・宇都
宮中央高、栃木県警察音楽隊
（合唱隊）宇都宮高、宇都宮南高、石橋高、黒磯
高、矢板東高、宇都宮合唱団、真岡市合唱団



指揮者 三橋英之（栃木県吹奏楽連盟理事長）
西垣 徹（栃木県吹奏楽連盟事務局長）
田村勝美（栃木県警察音楽隊隊長）

式典演技（準備）



役員・選手団は丸椅子に座ったまま式典演技を鑑賞

式典演技 プロローグ

タイトル：「人*むすぶ*大地 人*つくる*未来」～とちぎとの出会い いちご一会物語～
演技構想：とちぎの魅力＝バランスのとれた豊かさ



映像とナビゲーターによる物語への期待感を醸成
2122年の未来から100年前に戻り、栃木県の歴史を学ぶという設定
とちぎ未来大使：石川恋（女優、モデル）・とちぎミュージカル協会所属の子役2人

式典演技 Scene 1 恵まれた「大地」～自然～



「山」「平野」「川・しぶき」「川魚」「トチノキ（県木）」「オオルリ（県鳥）」など栃木県の自然の豊かさを表現（中学生約200名・高校生約300名）

式典演技 Scene 2 「出会い」と「つながり」～歴史・文化～



「僧衣」「襖」「時代衣装」「書道パフォーマンス」による多くの人々出会いと栃木県の豊かな文化を表現（高校生約250名・一般約50名）

式典演技 Scene 3 豊かなとちぎ～更なる可能性～



「農業家・酪農家」「かんぴょう・いちご」「科学者」「製造者」による農業、伝統工芸、製造業など、全国有数の「もとづくり県」＝栃木県を表現
(小学生約100名・高校生約150名・特別支援生約50名・大学生約100名)

式典演技 エンディング 夢を感動へ、感動を未来へ ～いちご一会～



全出演者と観客者・会場が一つとなり、大会イメージソング「いちご一会」ダンスを表現
(Scene1～Scene 3 全出演者、ダンスコンテスト参加チーム、プロスポーツチーム 約1,350名)
サトウヒロコ (シンガーソングライター)

役員・選手団退場



式典演技の
全出演者が花道
をつくり
役員・選手団が
退場

エンディングプログラム



車いすバス
ケットボール
紹介



未来のアス
リート（サッ
カー）紹介

その他（おもてなし広場、ボランティア）



次第・全体スケジュール

【総合閉会式】

期日 令和4（2022）年10月11日（火）

会場 カンセキスタジアムとちぎ



総合閉会式		
順	次第	時刻
1	開場	8:00
2	オープニングプログラム開始	9:00
3	オープニングプログラム終了	9:45
4	皇族御着席	9:59
5	開式通告	10:00
6	役員・選手団入場開始	10:01
7	役員・選手団整列完了	10:11
8	成績発表	10:12
9	表彰状授与	10:17
10	天皇杯・皇后杯授与	10:27
11	大会会長あいさつ	10:31
12	スポーツ庁長官あいさつ	10:34
13	栃木県旗・宇都宮市旗敬礼	10:37
14	大会旗・日本スポーツ協会旗敬礼	10:39
15	国歌敬礼	10:40
16	炬火分火・納火	10:42
17	国体旗引継	10:46
18	鹿児島県旗敬礼	10:48
19	閉会宣言	10:50
20	閉式通告	10:51
21	皇族御退席	10:52
22	役員・選手団退場開始	10:53
23	役員・選手団退場完了	11:09
24	終了	11:10

オープニング
プログラム
(45分)

式典
(51分)

役員・選手団
退場
(16分)

オープニングプログラム（ダンス）



Short Flag Performer ソレイユ & Dream Treasure Supported by きらり

オープニングプログラム



障スポ競技紹介
「ボッチャ」
デモンストレーション



大会を支えた方々の紹介



メモリアル映像
(国体ハイライト等)

式典運営（式典会場・式典ステージ・式典音楽隊）



フィールドに丸椅子
を設置



式典音楽隊は総合
開会式と同じ



式典補助員
式典アシスタント
(総合開会式と同じ)

式典アナウンサー
栃木放送 小暮 智
栃木県立真岡女子高等学校2年 市村千夏
栃木県立宇都宮女子高等学校2年 森田想子
栃木県立鹿沼高等学校2年 石田真帆

式典（皇族御着席・役員・選手団入場）



皇族御着席

天皇杯皇后杯授与
のため式典ステ
ージへ御着席



総合閉会式は沖
縄県から各県1列、
6県ずつ行進



大会名プラカー
ダー
都道府県プラカー
ダー
（総合開会式と同じ）



入場後丸椅子に
着席

式典（綜合成績発表・表彰状授与・天皇杯皇后杯授与）



表彰状授与
日本スポーツ協会
会長 伊藤雅俊



天皇杯皇后杯授与



式典（炬火分火・納火）



炬火分火者
今大会出場者
(成年種別)

榎本遼香
(水泳競技飛込)
大橋雅貴
(ホッケー)



炬火引継ぎ者
障スポ大会出場者

薄井えりか
(卓球)
増渕倫巳
(車いすバスケットボール)



炬火納火

式典（国体旗引継・閉会宣言・役員・選手団退場）



国体旗引継

栃木県知事より
鹿児島県知事へ引き
継がれる



役員選手団退場

栃木県選手団が花
道を作ってお見送
り



閉会宣言
栃木県知事



式典終了後、
各県選手団退場
後に、栃木県選
手団解団式

第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」視察報告書

件 名	第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」総合開会式視察
期 日	令和 4 年 9 月 3 0 日（金）～ 1 0 月 2 日（日）
場 所	カンセキスタジアムとちぎ
視察員名	荒川 栄（青森県体操協会）
○総合開会式 1. オープニングプログラム 12:45～（地元芸人 U 字工事 MC、地域の伝統芸能和太鼓演奏、チアリーディング等） 2. 式典 14:15～（各県選手団入場、天皇皇后杯返還、挨拶、炬火、選手宣誓等） 3. 演技 15:25～ 〈タイトル〉 人*むすぶ*大地 人*つくる*未来 ～とちぎとの出会い いちご一会物語～ 〈演技構想〉 ナビゲーターたちが、対話形式で栃木県の魅力である「バランスの取れた豊かさ」とその背景を紹介していく ストーリー（夢・感動があふれる物語を展開） 4. エンディングプログラム 16:05～（本県ゆかりの著名人等によるトークや ミニスポーツゲームの実施）	
○本県開催に向けた課題、参考事例等 1. MC を担当したお笑い芸人 U 字工事さんの役割はとても重要でした。やはり、他県からたくさんの来場がある開会式での MC は全国に名の知れた方が行うことでより盛り上がる印象を持った。さらに青森には素晴らしい伝統芸能がたくさんあるので、2026 年はこのオープニングで存分に披露できるとイメージが湧いた。 2. 式典は選手全員に丸いすが準備され、選手団の疲労に配慮した形はとても参考になった。 3. 式典時からフィールドに丸いすを設置するパターンだと演技するエリアが限られるので始まる前は狭く感じるのではないかと心配したが、今回のとちぎ国体での演技はそれでも素晴らしい内容に感じ特に狭いと感じたことはなかった。私も高校時三度国体開会式を経験した身とすると、やはり丸いすの配慮は選手にとってとてもありがたい。そう考えると青森国スポでもフィールドに丸いすを置く形で演技を構成するべき？また選手団退場時、演者が選手を見送る演出だったがこれは名案だと思った。時間短縮を考えると式典演技→天皇退場→選手団退場も合わせての演出ができると良いと感じた。 4. 最後は U 字工事、森三中大島さんなどの著名人によるスパラスポーツの紹介、サッカーのキックターゲットなどのアトラクションが行われたが、正直集中して見るができなかった。午前からの長丁場に加え日も暮れ始めてからのイベントは来ている来場者もほとんど席を立ち帰っていた印象。時期、時間的に青森をイメージするともっと陽が落ちるのが早いことからこれは不必要だったと感じた。	

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」視察報告書

件 名	第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」視察報告書
期 日	令和4年9月30日（金）～10月2日（日）
場 所	カンセキスタジアムとちぎ
視察員名	鳴海 憲孝
○総合開会式（式典音楽） ・使用されていた曲について、県の特徴（童謡やご当地ゆかりの作曲家を起用）を生かしたものであり、工夫をこらしたものであった。吹奏楽での演奏について、レベルの高い演奏であり、県を代表するバンドを起用したことにより、行進に華をそえるものであった。 ・炬火の曲が、一番スケールの大きな作品であった。曲の内容が良かっただけでなくもう少し演奏が大きく聞こえても良かった。少し残念に思えた。 点火のタイミングなど、動きと合わせることを重視したものであり、指揮者・演奏者がとても苦労したのではないかと思う。よく考えられた構成であった。	
○総合開会式（開会式全般） ・各県役員・選手団の入場について、かなり人数の差があったが、遠方から来る県のことを考えると致し方ないものであった。しかし、地元選手団の入場は、やはり見応えがあった。 ・オープニングプログラムやエンディングプログラムについて、栃木県の特徴を生かした内容であり、各県へのおもてなしを意識した内容であった。	
○本県開催に向けた課題、参考事例等 ・入場行進の曲について、オーソドックスな演目（行進曲）のほうが良いと思う。 童謡や民謡など、聞こえはいいが歩くとなると少し違和感（曲によるかも）がある。 ・演奏者の衣装を揃えたい。スタッフジャンパーみたいなもので統一したい。 <課題として> ・演奏者の本番における待機時間。（待機・退場のタイミング） ・会場での待機場所や音出し場所の確保。	

※視察後、3週間以内に御提出願います。

第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」視察報告書

件 名	第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」総合閉会式視察
期 日	令和 4 年 1 0 月 1 0 日（月）～1 0 月 1 1 日（火）
場 所	カンセキスジアムとちぎ
視察員名	中村俊子
○総合閉会式（オープニングプログラム） 閉会式前のフラッグチームとダンスチームのコラボパフォーマンスは、元気いっぱい で閉会式を待つ皆さんの心を温めたと思います。人数に限りがあるせいか、真ん中の 観客の皆さま向けなのか、もしくはステージを想定したダンスだったのか、隊形がこ じんまりしていて、もっと横幅を広くスペースをとっても良い気がしました。フラッ グは、遠くの観客の方にも目に留まりやすく人数が少数でも目立つため、式典には向 いていると思いました。	
○総合閉会式（式典音楽） 合奏や合唱のことは詳しくわかりませんが、生演奏がとても心地よかったです。入場 行進の曲も多数の曲を演奏したり、ファンファーレだったり、吹奏楽の皆さんの効果 的な音楽が印象的です。単に私が普段、聞くことがないだけなのかもしれません。最 後、司会の方やユージコージさんの声で吹奏楽の皆さんの演奏が聴けなかったのは少 し残念でした。お揃いの洋装の楽隊の皆さんも厳かな感じで良かったです。（すみま せん。一般人目線です）	
○本県開催に向けた課題、参考事例等 閉会式について…というより、青森県民のスポレクに対する理解認知度が心配です。 コロナ禍でイベントの感覚を忘れてしまっていたのですが、国体（国スポ）はたくさん の人やお金が動くのだと再認識しました。たくさんの方がわざわざ青森に来てくれる ということを認識して、おもてなしや各競技を楽しみながら、スポーツに対する意欲 や意識を高めるイベント作りを、今からしないといけないな～と感じました。エアロ ビック連盟でも、また、運動指導者一個人としても、スポーツを楽しめる県民性を作 れるように工夫していきたいと思います。	

※視察後、3 週間以内に御提出願います。

第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」視察報告書

件 名	第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」総合閉会式視察
期 日	令和 4 年 1 0 月 1 0 日（月）～1 0 月 1 1 日（火）
場 所	カンセキスタジアムとちぎ
視察員名	辻村成子
○総合閉会式（ 閉会式全般について ） ・式典の時間配分、流れがとてもスムーズだった。 ・観客が少なかった。その中であって地元学校の応援団は工夫された応援をしていて印象的であった。 ・会場が広くシャトルバスを降りてから目的地に到着するのに時間がかかった。 ・ずいぶんテントが多いと感じた。いろんな物に使用されていた。	
○総合閉会式（ 式典音楽について ） ・吹奏楽団も合唱隊も立派な演奏であった。選曲も魅力的であった。 ・指揮者も的確に指示していた。 ・予想したより合唱隊の出番が多く練習や吹奏楽との合わせがかなり必要だったのではと感じた。遠くからだったからわからないが、暗譜していたように見えた。 ・演奏内容からマイク、スピーカーの設置が的確なのだったと思った。 ・服装も上着のブルーと白いパンツの組み合わせが会場に映えていた。 ・惜しかったのは後半の童謡メドレーが司会者の声に消されて聞こえにくかった。	
○本県開催に向けた課題、参考事例等 ・練習回数を知りたい。単独、吹奏楽と合唱の合わせ等。 ・最近の流れが行進曲等にも合唱が入るとしたらかなりの負担になると感じた。早めの楽譜の提示、練習が必要になる。各学校の年間の行事（定期演奏会・コンクール等）もあるので。 ・青森での開催の際は閉会式にも観客がある程度いた方がいいと思う。	

※視察後、3 週間以内に御提出願います。

第80回国民スポーツ大会総合開・閉会式の方性（案）

1 総合開・閉会式における現状・課題と本県の方性案

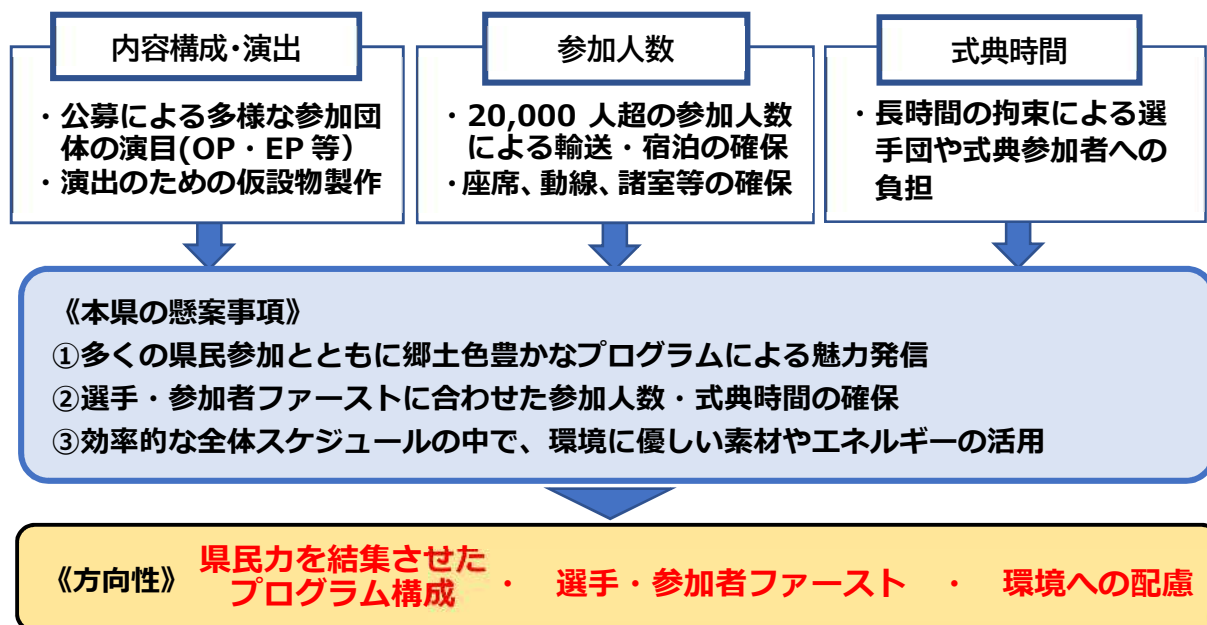
国スポにおける総合開会式は、国スポの開会を宣言し、気運を盛り上げるとともに、開催県の魅力発信と来県者との交流を図る最大のイベントである。先催県の総合開会式では、参加者が約25,000～40,000人、式典自体は4時間超、その他、オープニングプログラム・エンディングプログラム等開場から終了までは6時間超のスケジュールになっている。

一方、総合閉会式は、総合成績発表や大会旗引継セレモニーが行われるほか、繰り広げられた熱戦を振り返り、選手達の健闘と大会を支えたすべての関係者に感謝の気持ちを伝える場でもあり、先催県では参加者が約14,000人にも及ぶ。

そこで、本県では、式典会場の規模（収容人数約2万人）を踏まえた上で、第80回国民スポーツ大会式典基本計画（令和3年12月策定）に掲げる総合開・閉会式の基本的な考え方に加え、選手・参加者ファースト、環境への配慮の観点を盛り込みながら本県の魅力で来県者をおもてなしできるような総合開・閉会式とする。

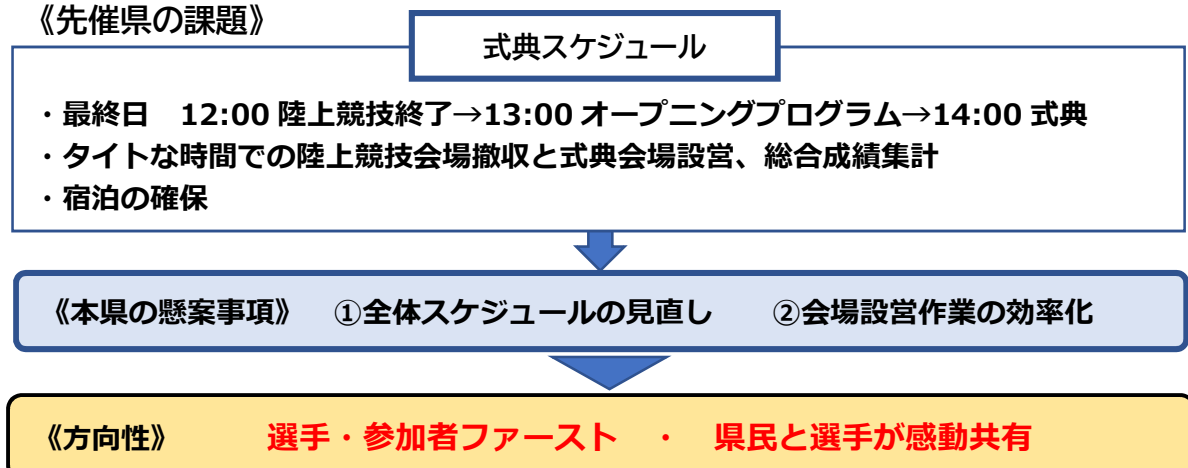
（1）総合開会式

《先催県の課題》



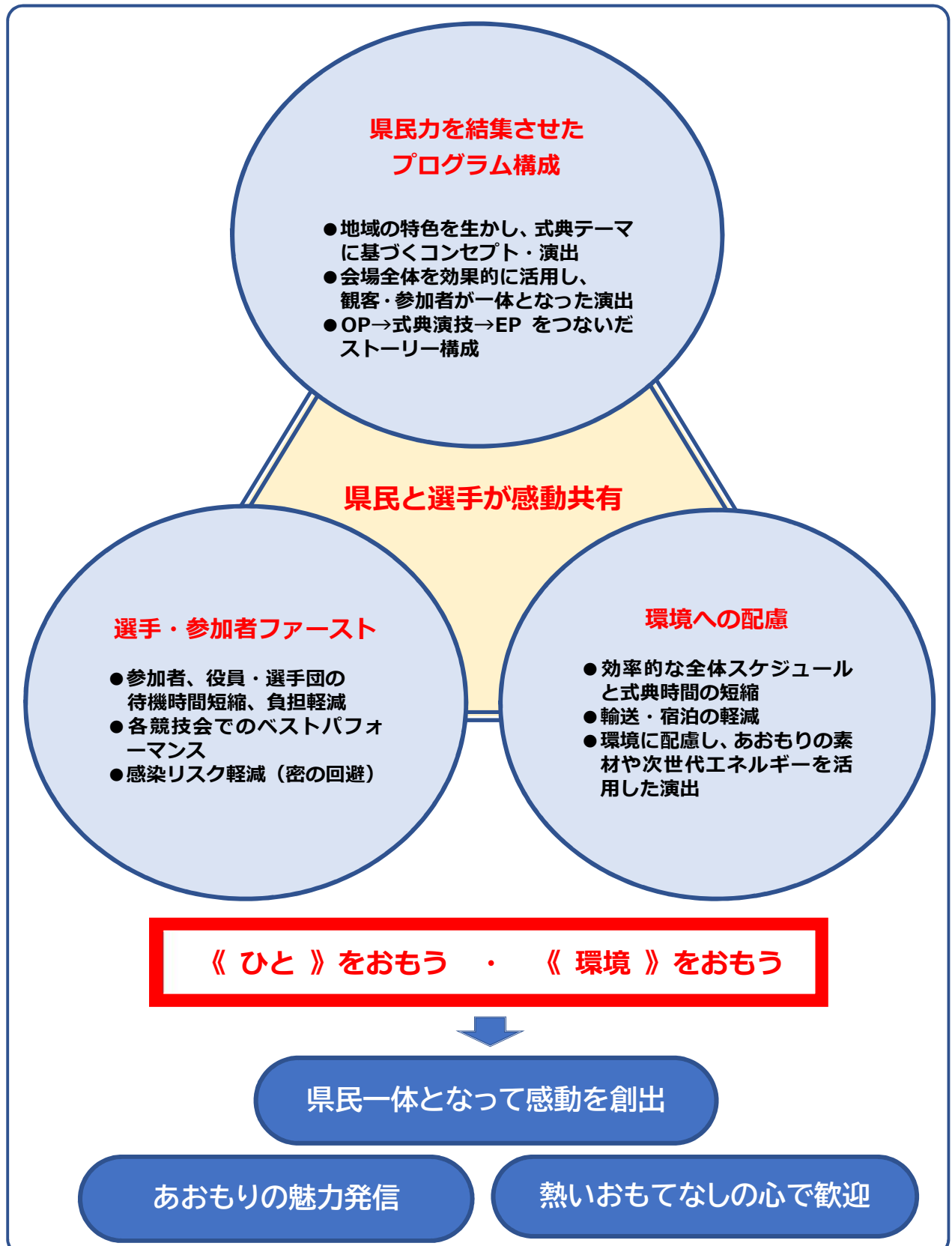
（2）総合閉会式

《先催県の課題》



2 総合開・閉会式の方向性

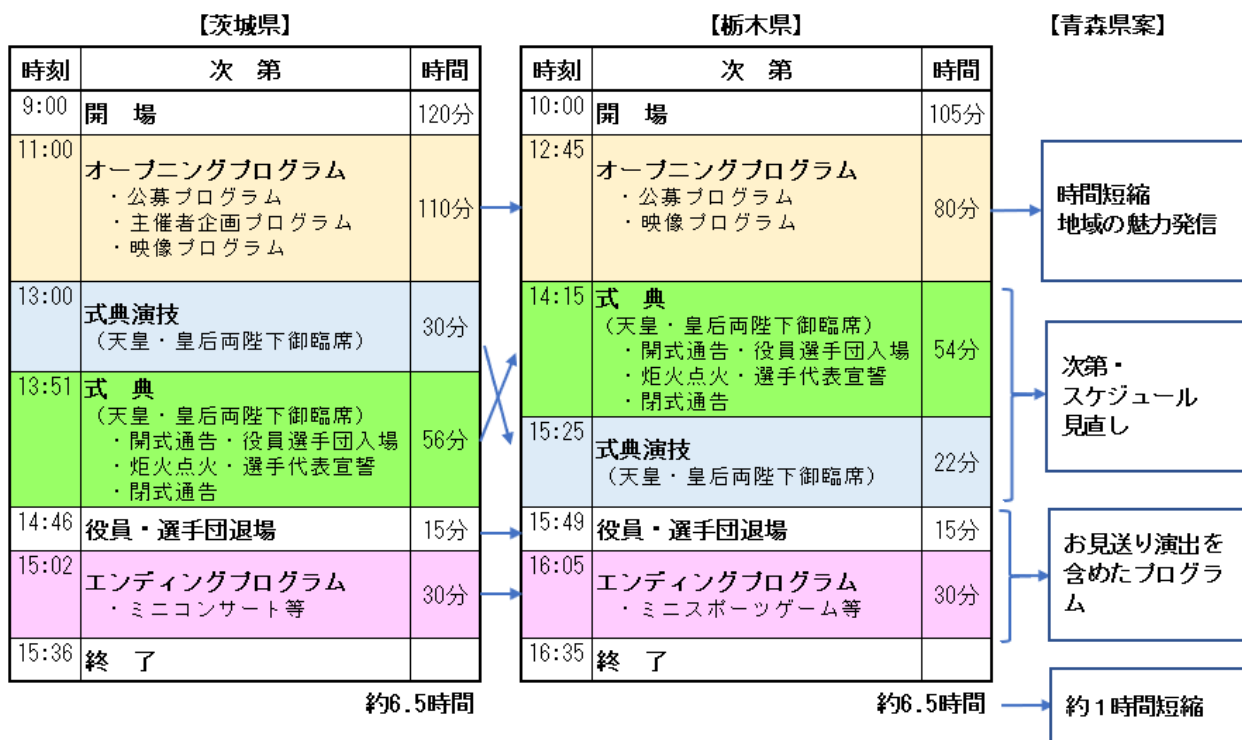
先催県の様々な課題を踏まえ、本県の総合開・閉会式は「**県民と選手が感動共有**」出来る式典とするため、「**県民力を結集させたプログラム構成**」「**選手・参加者ファースト**」「**環境への配慮**」を方向性の柱とし、「**《ひと》をおもう・《環境》をおもう**」式典を創り上げ、式典基本計画の基本的な考え方である「**県民一体となって感動を創出**」 「**あおもりの魅力発信**」 「**熱いおもてなし心で歓迎**」 できる式典の実現を目指す。



3 本県の検討項目

先催県の式次第を参考に、今後、本県の総合開・閉会式の式次第や各項目を検討する。

(1) 総合開会式



(2) 総合閉会式



第80回国民スポーツ大会式典実施計画作成に係る業務委託について（案）

1 「式典実施計画」作成業務委託の概要及び目的

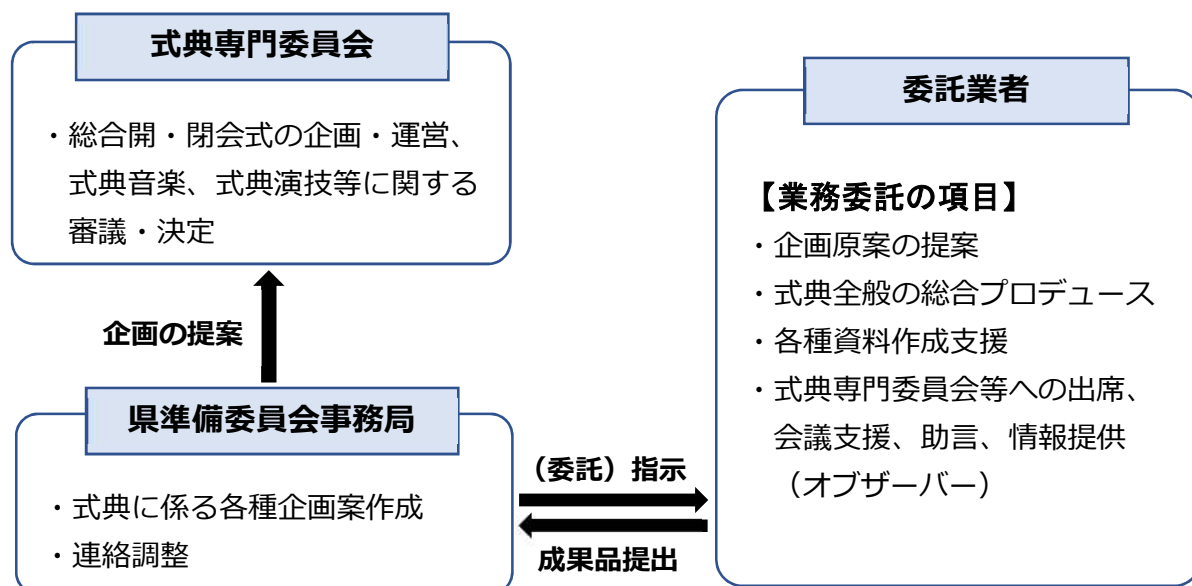
第80回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第25回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典（総合開・閉会式、炬火イベント等、以下「式典」という。）の実施に当たり、「第80回国民スポーツ大会式典基本計画」（令和3年度策定）を踏まえ、令和5年度に計画や演出等を具体化する「式典実施計画」を策定することとし、その原案作成並びに式典音楽及び式典演技制作については、業務委託で行う。

2 業務委託の概要（予定）

委託項目	委託する内容の概要
(1) 式典実施計画の作成	・「国スポ」及び「障スポ」の式典運営に必要な事項の策定（次第、全体スケジュール、動線、会場ゾーニング、映像、オープニングプログラム・エンディングプログラム・ファイナルステージの内容構成、演出等）
(2) 式典音楽の制作	・式典で使用する楽曲の制作、編曲及び楽譜制作（ファンファーレ、入場行進曲、炬火関連曲等） ・試奏会の開催、検証 ・著作権処理
(3) 式典演技の制作	・式典演技テーマ、構成演出、演技計画、出演者、振付イメージ等の制作 ・伴奏曲の提案
(4) 式典専門委員会の会議支援	・式典専門委員会が必要となる資料入手、作成及び情報提供 ・委員会等資料の説明

3 業務体制について

令和5年度以降の式典業務の大まかな体制（イメージ）は以下のとおり。



4 業者の選定方法

国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の式典は、選手・出演者・観覧者等数万人規模の来場がある大規模イベントであり、安全かつ円滑に業務を行うためには、企画・運営に関する高度な知識や技術、遂行力等が求められ、契約価格のみで評価、決定される性質のものではなく、業務の目的に合致した企画・技術力が重要となる。

また、企画を行う内容が式典運営から音楽や演技まで多岐にわたる業務となることから、これまで同種業務や類似業務の受託実績のある業者に委託することとし、「指名型プロポーザル方式」により委託業者を選定する。

(1) 審査会の設置

審査員については、先催県が実施した同様の審査会を参考に8名構成とする。

【審査員構成】

		役職名
1	審査委員長	県準備委員会式典専門委員会委員長
2	審査員	県準備委員会式典専門委員会副委員長
3		県準備委員会式典専門委員会委員（式典演技部門）
4		県準備委員会式典専門委員会委員（式典演技部門）
5		県準備委員会式典専門委員会委員（式典音楽部門）
6		県準備委員会式典専門委員会委員（式典音楽部門）
7		県準備委員会式典専門委員会委員（県関係）
8		障スポ県準備委員会会長

(2) 審査の方法

審査会において企画提案説明会（プレゼンテーション）を実施し、審査基準に基づき審査を行う。最も優れた提案を行ったと認められる者を契約の相手方として選定する。

【企画提案書の内容】

ア 組織の概要

業務実績、業務実施体制、配置予定者の経歴など。

イ 企画提案事項

- ①総合開・閉会式の全体コンセプト（国スポ・障スポ）
- ②オープニングプログラム・エンディングプログラム
- ③式典音楽
- ④式典演技
- ⑤ファイナルステージ（障スポのみ）
- ⑥炬火入場から点火・分火・納火

ウ 参考見積書

(3) 業者の参加資格

本プロポーザルに参加する者は、共同企業体を構成することとし、構成員のうち1者以上が下記アからウを満たすとともに、共同企業体のすべての構成員が下記エからクのすべてを満たしていること。

ア 青森県内に本社、支社又は営業所を有する事業者を1者以上構成員とする

- こと。
- イ 過去 10 年間に於いて、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、全国植樹祭又は全国豊かな海づくり大会等の大規模イベント開催に係る企画・運営業務を受託した実績を有する事業者を 1 者以上構成員とすること。
- ウ 青森県の物品等の競争入札参加資格（令和 4 年青森県告知第 63 号）に基づき、役務の提供を受ける契約に係る競争入札参加資格者名簿（R4. 12. 1～R5. 9. 30）に記載があり、かつ業種が「W 広告及びイベントに係るもの」であって A 級に格付けされた業者であること。
- エ 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 に規定する者に該当しない者であること。
- オ 民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定による民事再生手続開始の申立て、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定による更生手続開始の申立て又は破産法（平成 16 年法律第 75 号）の規定による破産手続開始の申立てが行われている者でないこと。
- カ 暴力団（暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員の統制の元にある者でないこと。
- キ 法人税、消費税及び地方消費税等を滞納していない者。
- ク 当該業務を事業委託期間内にわたり、確実に遂行するために必要な組織、能力及び人員等の体制を有する者であること。

5 今後のスケジュール

年	時期	内 容
R 4 年度 (4 年前)	R 5. 1 月下旬	プロポーザル指名通知
	R 5. 2 月上旬	プロポーザル説明会 ＜資格審査＞
	R 5. 3 月上旬	企画提案書提出期限
	R 5. 3 月中旬	審査会＜プレゼンテーション＞
	R 5. 3 月下旬	選定結果通知 ＜仕様書、契約書（契約内容）の最終協議＞
R 5 年度 (3 年前)	R 5. 4 月	契約締結
	式典実施計画の掲載内容について式典専門委員との意見交換	
	R 5. 9 月	第 5 回式典専門委員会で「式典実施計画（素案）」 審議
	R 6. 1 月	第 6 回式典専門委員会で「式典実施計画（案）」 審議・決定
	R 6. 3 月	成果品納期

第 80 回国民スポーツ大会式典音楽制作について（案）

1 概要

「第 80 回国民スポーツ大会式典基本計画」（以下「式典基本計画」という。）の式典音楽の基本的な考え方に基づき、総合開・閉会式等の各場面で使用する楽曲を決定する必要がある。

先催県では、式典使用楽曲の制作については、式典実施計画作成業務委託の中で行われているが、本県は、式典実施計画作成とは別に業務委託する。

2 使用楽曲について

式典で使用する楽曲については、前回の「第 32 回あすなろ国体」及び北東北ブロックで開催の平成 23 年度全国高等学校総合体育大会（総合開会式会場：青い森アリーナ）で使用され好評であった楽曲の活用について検討したところ、著作権の管理状況等不明な楽曲が多く、専門の業者に委託したとしても楽曲の使用許諾を得ることが困難であると判断したもの。

なお、楽曲の使用許諾等著作権処理については、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）に管理されている楽曲については特に支障はないが、JASRAC に管理されておらず、作詞家・作曲家・編曲家が故人の楽曲については、その相続人の調査等に時間を要するとともに、使用の許諾を得ることも不確定であるため、式典音楽のうち、本県オリジナルで利用できる場面の楽曲については、著作権処理等諸課題が発生しないように新規制作が適当としたもの。

3 楽曲制作について

式典基本計画の式典音楽の基本的な考え方である

- ・青森県の自然や歴史、文化をモチーフとした楽曲や、本県のゆかりのある楽曲を取り入れて構成し、郷土色豊か
- ・あおもりの魅力を全国へ発信
- ・全国から訪れる方々を熱いおもてなしの心で歓迎

といった要素を取り入れた楽曲を制作するには、青森県の音楽分野の「人財」を活かした「オールあもり」で楽曲制作に取り組む必要がある。また、式典の中に先催県とは違う「あもりらしさ」を醸し出すために、実行委員会と頻繁に意見交換を行う必要があることから、利便性と特殊性を考慮の上、地元の団体に業務委託するべきと考え、青森県吹奏楽連盟に業務委託する。

4 今後のスケジュール

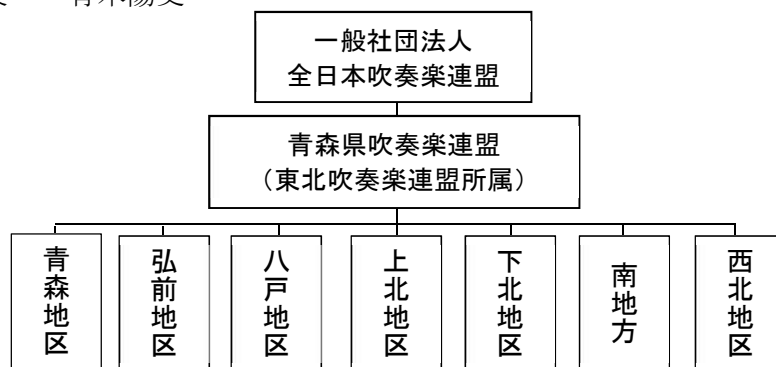
年度	時期	内容
R 5 年度 (3 年前)	R5. 4 月	音楽制作業務委託契約締結
	R5. 4 月～11 月	楽曲制作
	R5. 9 月	第 5 回式典専門委員会中間報告
	R5. 11 月	第 1 次成果品納品（楽譜電子データ、デモ音源）
	R6. 1 月	第 6 回式典専門委員会第 1 次成果品報告
	R6. 2 月下旬	試奏会
	R6. 3 月	第 2 次成果品納品（楽譜電子データ、デモ音源）
R 6 年度 (2 年前)		録音会、CD・楽譜集制作、指揮者・出演者決定、 服飾デザイン検討
R 7 年度 (1 年前)		服飾整備検討、練習会実施
R 8 年度 (開催年)		合同練習会

<参考 1>

青森県吹奏楽連盟

青森県吹奏楽連盟は、学校教育法に基づく小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学及び職場・一般の吹奏楽団及び学校外で活動する小学生による任意の団体によって構成され、県民文化の向上と音楽文化の振興併せて吹奏楽の普及・発展を図ることを目的とし、青森県吹奏楽コンクール、青森県アンサンブルコンテスト、講習会・研修等の事業を運営している。

会 長 西谷龍彦
 副 会 長 樋口秀視、秋元辰一、相馬保
 理 事 長 鳴海憲孝
 副理事長 長利清人、川村敏広、津田健一郎
 常任理事 工藤守生、四ッ谷光幸、葛西昭吾、岩渕智哉
 理 事 葛西雅美、軍司大介、五十嵐敬彦、吉田佳孝、熊谷敬太
 監 事 千葉敦、谷口実
 事務局長 青木陽史



＜参考 2＞

【使用曲の構想】

場 面	開・閉会 式の区別	きら 青の煌めきあおもり 国スポ	きら 青の煌めきあおもり 障スポ	時間	制作曲 13 曲 (作曲:10 曲 編曲:3 曲)
開 式 通 告	開・閉	ファンファーレⅠ		約 20 秒	1 曲
役員・選手入退場	開・閉	【入退場行進曲】6曲 行進曲「岩木」(「あすなろ国体」使用曲)(既存曲) 行進曲版イメージソング「翔ける未来へ」(編曲) 行進曲版「青い森のメッセージ」(編曲) 「新行進曲①(タイトルは仮)」(作曲) 「新行進曲②(タイトルは仮)」(作曲) ドラムマーチ(作曲) ※ドラムマーチは、曲と曲を繋ぐ約 30 秒の楽曲		約 25～ 30 分	5 曲 (作曲:3 曲 編曲:2 曲)
開 会 宣 言	開・閉	ファンファーレⅡ		約 20 秒	1 曲
国 旗 掲 揚	開・閉	「君が代」			—
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚	開・閉	「若い力」	—		—
大 会 旗 掲 揚	開・閉	—	「空よ大地よ」		—
青森県旗・参加都道府県旗・会場地市町村旗掲揚	開・閉	青森県民の歌「青い森のメッセージ」(編曲)		約 90 秒	1 曲
天皇杯・皇后杯返還表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与	開・閉	「見よ勇者は 帰りぬ」	—		—
炬 火 入 場 ・ 点 火	開	炬火関連曲Ⅰ		約 6 分	1 曲
炬 火 分 火 ・ 納 火	閉	炬火関連曲Ⅱ		約 6 分	1 曲
選 手 代 表 宣 誓	開・閉	ファンファーレⅢ		約 20 秒	1 曲
国スポ・大会旗引継	閉	宮崎県が指定する曲			—
次期開催県旗掲揚	閉	宮崎県が 指定する曲	—		—
閉 会 宣 言	閉	ファンファーレⅤ		約 20 秒	1 曲
閉 式 通 告	開・閉	ファンファーレⅣ		約 20 秒	1 曲

第80回国民スポーツ大会炬火台・炬火トーチ・炬火受皿の製作について（案）

1 概要

第2回式典専門委員会（R3.9.9 書面開催）において、炬火台については前回国体の炬火台の再活用、炬火トーチ及び炬火受皿についてはデザインの公募・製作等に関する事を、今後本委員会で検討していくとしていた。

その後の業者見積もりや先催県からの情報を踏まえ、炬火用具（炬火台・炬火トーチ・炬火受皿）の製作方針について、方向転換等するもの。

2 炬火台の製作における考え方の変更

前回の「あすなる国体」で使用した炬火台は、八戸の是川中居遺跡から発掘された縄文土器をモデルに製作したものであり、第80回国民スポーツ大会のスローガン及び第80回国民スポーツ大会式典基本計画（令和3年度策定）における式典テーマ「翔ける未来へ縄文の風に乗って」や令和3年7月に縄文遺跡群が世界遺産登録となったことを踏まえ、再活用することで本委員会で決定したところであるが、旧陸上競技場に設置してある炬火台の解体・移動・研磨に係る経費（154万円）、老朽化により使用不可である燃焼部分の新たな燃焼システム（環境に配慮したシステム）製作経費（今後検討予定）、旧陸上競技場から移動させた後の保管場所の確保（保管料含む。）及び総合開・閉会式会場であるカクヒログループアスレチックスタジアムでは、炬火台設置スペースがないため、仮設移動式の炬火台となること等を総合的に考慮した結果、再活用は経済的・効率的ではないと判断し、新規製作に変更する。

3 先催県の炬火トーチ・炬火受皿の製作方法

先催県の炬火トーチ・炬火受皿のデザイン決定方法及びデザインするものの組み合わせパターンは、次のとおり。

開催県	炬火台	炬火トーチ	炬火受皿
岩手県	既存炬火台使用	大学博士（工業デザイナー）に依頼	
愛媛県	一般公募（炬火台 不明・炬火トーチ 102 点、炬火受皿 76 点）		
福井県	既存炬火台使用	公募型プロポーザル方式	
茨城県	既存炬火台使用	公募型プロポーザル方式	
鹿児島県	既存炬火台使用	一般公募	
三重県	前回国体のデザイン 踏襲	一般公募（1,922 点）	前回国体のデザイン 踏襲
栃木県	一般公募（炬火台 126 点、炬火受皿 155 点）		炬火台と同じデザイン

先催県で一般公募している理由としては、気運醸成を目的にしているところであるが、応募作品の募集状況は、デザイン報償の金額（3万円～30万円）の多寡に比例して決して多くはないのが現状。（三重県は、炬火トーチだけの公募で、学校の協力があって応募数が多かった模様。（1,922点））

なお、一般公募で決定したデザインは、実施設計の段階でデザイナーに委託することになり、具現化するには、材料等の選定も含めて簡単ではなく費用も割高になる。

4 本県の炬火台・炬火トーチ・炬火受皿の製作方法

本県の炬火台の材料の一部には、東京オリンピック・パラリンピックの選手村で使用された県産材（返却されたもの）の再利用が必須であることから、これらの使用を前提としたデザインと材料の選定、環境に配慮した燃焼システムの安全面の考慮など、デザイン作成の段階から製作を見据えたデザイン設計が求められる。

また、先催県での諸課題を踏まえ、炬火台・炬火トーチ・炬火受皿のデザイン作成については、「あおもりデザイン協会（代表者 森内忠良）」（以下「ADA」という。）に委託で実施する。

ADAは、35名のデザイナーが会員になっている団体であり、会員から式典テーマに沿ったデザインを募り、ADA事務局で炬火用具（炬火台・炬火トーチ・炬火受皿）のデザインをそれぞれ3案まで絞り、本式典専門委員会で各炬火用具のデザインを決定する。

ADAに委託することで、一定の競争性が確保され、またデザイナーがデザインすることから、レベルの高い作品の中から選定されること、そして、デザインの段階から製作したもののイメージができあがっていることから、次の工程である実施設計が比較的容易であるなどメリットも多い。

なお、炬火関係については、デザインや試作品等が完成した節目節目にメディアを活用して発表していくことで気運醸成を図り、市町村の炬火イベントに繋げていく。

あおもりデザイン協会

「あおもりデザイン協会」は「デザインは未来である」との理念のもと、デザイン意識の普及・啓発を図り、企業とデザイナーのネットワーク、デザイン情報の提供、デザイナーの資質向上など、業界、行政の枠を越えてネットワークを形成しています。

青森県のデザインを基軸とした産業・文化の振興を図ることを目的として、ジャンルを問わず、幅広くデザイン業務に携わる会員で構成されている。

役員（2021年7月選出～2023年6月）

会長	森内 忠良	理事	笹森 知明
副会長	久保田 幸造	理事	千葉 武
副会長	須藤 一幸	理事	西川 千秋
副会長	村上 朱美	理事	和田 耕一
事務局長	野月 ひさ子	会計監査	鈴木 悟
理事	阿保 勝	会計監査	山谷 雅英
理事	工藤 洋司		

正会員 35 名 賛助会員 5 企業（2022 年 7 月現在）

■ 令和4年度栃木国体（仮設移動式炬火台の例）



■ 令和4年度栃木国体（「集火式」における炬火トーチと炬火受皿）



炬火トーチ



炬火受皿

5 今後のスケジュール

年度	時期	内容
R 5 年度 (3 年前)	R5. 4 月	デザイン設計業務委託契約締結 (炬火台・炬火トーチ・炬火受皿)
	R5. 4 月～12 月	デザイン設計
	R5. 9 月	第 5 回式典専門委員会 中間報告
	R6. 1 月	第 6 回式典専門委員会 デザイン審議・決定 (炬火台・炬火トーチ・炬火受皿)
R 6 年度 (2 年前)	R6. 4 月	実施設計・試作品製作業務委託契約締結 (炬火トーチ・炬火受皿)
	R6. 4 月～12 月	実施設計、試作品製作(炬火トーチ・炬火受皿)
	R6. 9 月	第 7 回式典専門委員会 中間報告
	R7. 1 月	第 8 回式典専門委員会 デザイン審議・決定
	R7. 2 月	炬火トーチ・炬火受皿試作品発表
R 7 年度 (1 年前)	R7. 4 月	実施設計業務委託契約締結(炬火台) 製作業務委託契約締結(炬火トーチ・炬火受皿) 炬火台実施設計、炬火トーチ・炬火受皿製作
	R8. 2 月～3 月	炬火トーチ・炬火受皿 市町村へ配布
R 8 年度 (開催年)	R8. 4 月	炬火台製作・燃焼管理業務委託契約締結 炬火台製作 市町村での炬火イベント実施
	R8. 8 月	炬火台完成 試験燃焼
	R8. 9 月	集火式

その他

第80回国民スポーツ大会式典業務スケジュール

年度 逆年	令和元(2019) 7年前	令和2(2020) 6年前	令和3(2021) 5年前	令和4(2022) 4年前	令和5(2023) 3年前	令和6(2024) 2年前	令和7(2025) 1年前	令和8(2026) 開催年
全体 計画	式典基本方針		式典基本計画	式典実施計画 内容検討		式典実施計画 業務委託	式典実施要項 業務委託	式典運営業務 業務委託
式典 運営	式典の基本理念・概要	式典の基本理念	式典のテーマ イメージ・方向性		全体スケジュール・式次第決定 実施本部体制構築 動線計画	総合練習会計画検討 式次第協議(JSPO)	式典実施要項の修正 総合練習会計画	
	開・閉会式の構成		基本的な考え方 式次第検討		荒天時計画 選手団参集範囲検討	選手団参集範囲決定 役員・選手団入退場計画	本部員人員検討 参加意向調査	式典運営
	式典の企画・運営				放送・音響計画	アナウンサー選定 音響機器・映像システム整備計画 放送業務要領	アナウンサー養成	
	<OP・EP> <競技会表彰式>		基本的な考え方 構成・出演者イメージ 基本的な考え方 競技会表彰式基準要項		構成内容・映像プログラム検討 出演者選定計画 表彰式計画 市町村との連絡調整	出演団体の募集・決定 映像制作 市町村との連絡調整	総合練習会計画策定 (リハーサル大会実施)	合同練習会
式典 音楽	先催県から情報収集		基本的な考え方 音楽隊編成の構想 使用曲の構想 作・編曲者選定 入場行進曲の構成 作・編曲者依頼		使用楽曲制作 試奏会演奏奏団体検討 試奏会 出演者選定計画検討 服飾デザイン検討 楽器整備計画	指揮者・出演者決定 録音会 使用曲CD及び楽譜の制作 練習計画検討 楽器保有状況調査	服飾整備検討 楽器メンテナンス 練習会実施 合同練習会計画策定 楽器レンタル・保険検討	合同練習会
	先催県から情報収集		基本的な考え方 演技コンセプト検討 活用素材検討 演技展開検討 伴奏曲制作計画検討 出演団体編成計画		出演団体選定 演技テーマ・構成・展開等検討 振付者選定・振付制作 伴奏曲作・編曲者依頼 服飾デザイン・用具検討 練習計画・指導者選定	演技展開・振付決定 演技マニュアル策定 伴奏曲決定 振付DVD・伴奏曲CD 出演団体決定 指導者講習会・練習会	演技内容調整(JSPO協議) 演技用具・手具整備 服飾整備 合同練習会計画策定 練習会実施	合同練習会
大会旗・炬火 イベント			基本的な考え方、炬火台確認 炬火イベント基本方針検討 採火・集火方法検討 炬火用具デザイン検討(公募の有無等)	炬火演出検討 炬火入場・点火計画 炬火用具制作方法検討 炬火走者選定検討	炬火演出検討 炬火入場・点火計画 炬火用具制作方法検討 炬火走者選定検討	採火方法検討 点火・分火・納火の演出検討 炬火用具デザイン決定 炬火台整備計画	炬火演出決定 炬火走者決定 炬火用具制作・整備	炬火台整備 炬火イベント実施
委員会開催予 定回数	1回	0回	2回	1回	2回	2回	2回	1回
開催県	茨城県	三重県	栃木県	奈良県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県

※このスケジュールは、必要に応じて改訂する。